

GT FINDER GT PLUS⁺

導入手順書

20140422

動作環境

オペレーティングシステム Microsoft Windows Vista/7/8 (日本語版)
CPU Intel Core2 2GHz 以上 (Intel Core i5 3GHz 以上を推奨)
RAM 1GB 以上 (2GB 以上を推奨) 且つオペレーティングシステムが要求するサイズ以上
ハードディスク 20MB 以上のハードディスク (プログラム領域)
アーカイブメディア使用時は別途画像と動画の保管領域が必要です。
CD-ROM 4 倍速以上の CD-ROM ドライブ (インストール用)
ディスプレイ 1024×768 以上且つ 32 ビットカラー (1280×1024 / 32 ビットカラー以上を推奨)
その他 動画を扱う場合は DirectShow がインストールされている必要があります。
動画の再生や編集を行うには動画の形式に対応したビデオコーデック DirectShow フィルタが必要です。
GT Plus でビデオキャプチャを利用する場合は DirectShow がインストールされている必要があります。

対応メディア (オフライン)

TEAC MV-250 (TIFF 画像には非対応)
TEAC MV-50M/65M/60M/65/70/71
TEAC MV-150/180/180F
TEAC MV-S10/H10/D10
TEAC MV-10XS/10XH/10XD
TEAC MV-3CS/3CH
TEAC DV-700
OLYMPUS EICP-S/EICP-D
Canon CR-DG10

自動取り込み対応機種

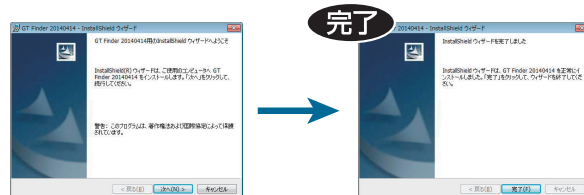
HITACHI EUB-5500/6500/7500/8500
HITACHI Apron EUB-7000HV/Hi VISION 900
HITACHI Hi VISION Avius/Hi VISION Preirus
Siemens ACUSON S2000/Antares
Siemens SONOVISTA FX/X300/ACUSON X300
TOSHIBA Famio 5/Famio Cube/Nemio/Nemio XG
本多電子 HS-1500/2000
Smith&Nephew 660HD

TEAC MV-S10/H10/D10/10XS/10XH/10XD
TEAC MV-3CS/3CH
TEAC DV-700
Canon CR-DG10
Canon CR-1/CR-2/CR-DGi (要 Capture-i)
Canon CX-1/CF-1/CF-60DSi
HITACHI EUB-5500/6500/7500/8500
HITACHI Apron EUB-7000HV/Hi VISION 900
HITACHI Hi VISION Avius/Hi VISION Preirus
Siemens ACUSON S2000/Antares
Siemens SONOVISTA FX/X300/ACUSON X300
FUKUDA DENSHI FEV-40/75

インストール

GT Finder/GT Plus の CD-ROM をコンピュータのドライブに入れるとセットアッププログラムが自動的に起動します。

セットアッププログラムが起動しない場合は、「エクスプローラ」より GT Finder/GT Plus の CD-ROM を開き、setup.exe をダブルクリックして下さい。

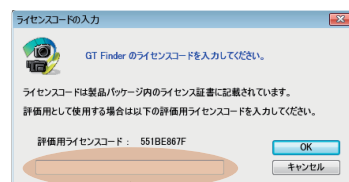


インストール中に必要な設定項目はありません。
「次へ」をクリックしてインストールを進めて完了して下さい。

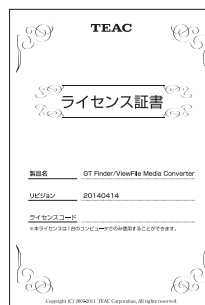
ライセンスコード

初回起動時にはライセンスコードの入力を行う必要があります。
ライセンスコードは製品パッケージ内のライセンス証書に記載されていますので、ライセンスコードを正確に入力して OK ボタンをクリックしてください。

正規ライセンスコードを入力すると、次回以降の起動時にはライセンスコードの入力は必要なくなります。



ライセンスコードを入力します。

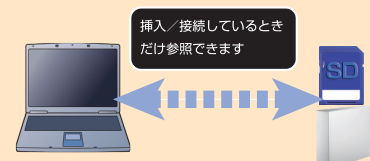


簡単初期設定

初回の起動時には自動的に簡単初期設定が始まります。簡単初期設定では大まかな使い方を決定します。
「設定」メニューの「簡単初期設定」によりいつでも簡単初期設定をやり直すことができますので、どのように設定すれば良いかわからない項目はそのままにしておいて構いません。

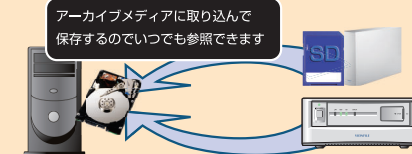
GT Finder では、以下のような二種類の基本的な使い方を選択できます。ご使用を開始するにあたり、まず簡単初期設定にて基本的な使い方を選択して頂きます。(GT Plus の場合は基本的に②アーカイブメディアを利用します。)

① オフラインメディア



MV シリーズで記録した DVD や SD カードを装填、または MV-3CH で記録した外付けハードディスクをコンピュータに接続して参照します。MV シリーズで記録するときはこれらを取り外して MV シリーズのドライブに挿入、もしくは接続します。この間は記録した画像や動画を参照することはできません。

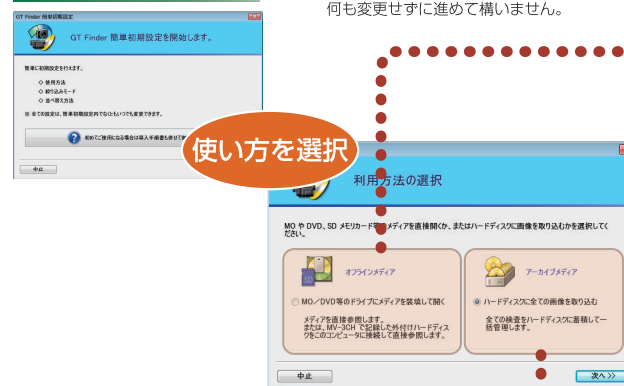
② アーカイブメディア



コンピュータのハードディスクにアーカイブメディアを作成し、全ての画像や動画をアーカイブメディアに取り込みます。MV シリーズで記録したメディアをコンピュータに装填して取り込む方法に加え、MV シリーズのネットワーク転送による自動取り込みにも対応します。原則として GT Plus は常にこちらの方法で使います。

簡単初期設定で、どちらの方法で使用するかを選択します。

簡単初期設定開始



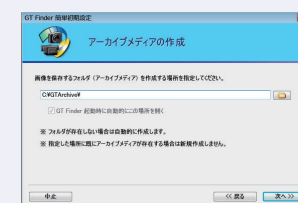
ここに記載されている項目以外については何も変更せずに進めて構いません。

使い方を選択

② アーカイブメディア

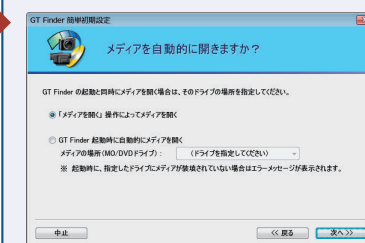
アーカイブメディアを使用する場合は、アーカイブメディアの作成場所と、アーカイブメディアへの取り込み方法を設定します。

裏面に続きます



次へ >>

① オフラインメディア



MV シリーズで記録したメディアを直接開く場合はこれで設定完了です。
(裏面をご覧ください必要はありません。)
メインウィンドウツールバーの「メディアを開く」ボタンをクリックしてください。

アーカイブメディアへの取り込み

表面から続きます

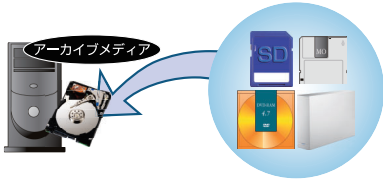
ここまでで、空のアーカイブメディアを作成しました。
作成したアーカイブメディアに画像や動画を取り込むことができます。

① メディア取り込み

MV シリーズで記録した MO、DVD-RAM、SD カードをドライブにセットして
アーカイブメディアに取り込みます。
MV-3CH で記録した外付けハードディスクからも同様に取り込むことができます。

操作方法

ツールバーの「アーカイブメディア」
プルダウンメニューの「メディア取
り込み」をクリックすると、「メディア
取り込み」ウィンドウを表示します。



取り込みを開始します。
取り込むメディア（取り込み元）の場所を指定します。
選択肢には SD カードドライブのような取り外し可能
なドライブと MV-3CH で記録したハードディスクド
ライブが表示されます。

その他の項目はオプションです。
通常は何も変更する必要はありません。

② MV シリーズからの自動取り込み（ネットワーク転送）

MV シリーズのネットワーク転送機能を利用して、画像や動画を自動的に
アーカイブメディアに取り込みます。

自動取り込み対応 MV シリーズ（2014 年 4 月現在）

TEAC MV-3CS/3CH、TEAC MV-10XS/10XH/10XD
TEAC MV-S10/H10/D10、TEAC DV-700

ネットワーク転送を利用するには、コンピュータと MV シリーズ両方に適切なネットワークの設定を行う必要があります。
どのような接続の場合でも、コンピュータと MV シリーズ共に IP アドレスとサブネットマスクを割り当てなくてはなりません。

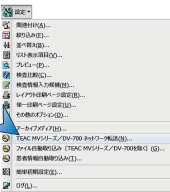
接続方法 1（独立したネットワーク）

コンピュータと MV シリーズで独立したネットワークを構成します。
他のネットワークに一切影響を与えないので IP アドレスを自由に
割り当てることができます。



このような接続方法の場合には、GT Finder/GT Plus の「一対一接続自動設定」を利用できます。「一対一接続自動設定」は、
ほとんど全自動でコンピュータ
と MV シリーズのネットワーク
設定を完了できる、最も簡単な
設定方法です。

ツールバーの「設定」ボタンの
「TEAC MV シリーズ／DV-700
ネットワーク転送」メニューを
クリックします。



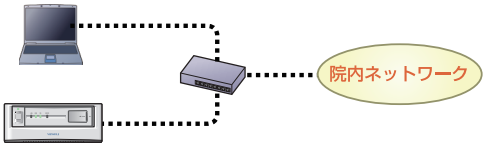
① 「転送機器追加登録」を
クリックします。

② 「一対一接続自動設定を行う」を
クリックします。

③ 指示に従って設定を完了します。

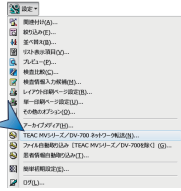
接続方法 2（既存のネットワークに追加）

コンピュータと MV シリーズを院内ネットワークに追加します。
IP アドレス、サブネットマスク等の情報は管理者が設定します。



GT Finder/GT Plus で設定を開始する前に、コンピュータと MV シリーズに割り当てる IP アドレス、サブネットマスク、デフォルト
ゲートウェイを決定する必要があります。既存ネットワークに接続する場合、これらはネットワーク管理者によって割り当てられます。
DHCP（IP アドレス自動取得）は利用できません。コンピュータ、MV シリーズ共に固定 IP アドレスを割り当てる必要があります。

ツールバーの「設定」ボタンの
「TEAC MV シリーズ／DV-700
ネットワーク転送」メニューを
クリックします。



① 「転送機器追加登録」を
クリックします。

② 「一対一接続自動設定を行わない」を
クリックします。

③ 指示に従って設定を完了します。

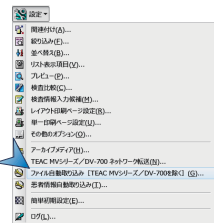
③ MV シリーズ以外の機器からの自動取り込み

GT Finder/GT Plus は TEAC MV シリーズ以外の診断装置やシステムからの画像の自動取り込みにも対応しています。

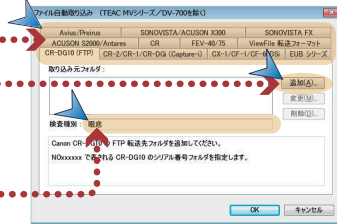
MV シリーズを除く、自動取り込み対応機種（2014 年 4 月現在）

眼底カメラ	Canon CR-DG10	(FTP 転送により書き出された画像の取り込みが可能)
眼底カメラ	Canon CR-1/CR-2/CR-DGi	(Capture-i が出力する画像の取り込みが可能)
眼底カメラ	Canon CX-1/CF-1/CF-60DSi	(RICS が出力する DICOM 画像の取り込みが可能)
超音波診断装置	HITACHI EUB-5500/6500/7500/8500、Apron EUB-7000HV、HI VISION 900	
超音波診断装置	HITACHI HI VISION Avius/HI VISION Preirus (要 Microsoft SQL Server)	
超音波診断装置	Siemens ACUSON S2000/Antares、SONOVISTA FX、SONOVISTA/ACUSON X300	
心電図ビューア	FUKUDA DENSHI FEV-40/75	(FEV-40 ツールバー「カメラ」ボタンによる手動出力画像の取り込みが可能)

ツールバーの「設定」ボタンの「ファイル自動取り込み [TEAC MV シリーズ／DV-700 を除く]」メニューをクリックします。



- ① 自動取り込みを行う機種やシステムをクリックして
選択します。
- ② 「追加」ボタンをクリックして対象機種やシステムが
ファイルを書き出すフォルダを追加します。
- ③ 検査種別を入力できます。（任意）



アーカイブメディアへの自動取り込み動作確認

自動取り込みの動作状態を GT Finder/GT Plus メインウィンドウまたはプレビューウィンドウの右下部に表示します。

患者情報／ファイル自動取り込み停止中

..... 自動取り込みは動作していません。自動取り込みを開始するにはこの部分をクリックして、
メニューの「自動取り込み開始」をクリックしてください。

ファイル自動取り込み動作中

..... 自動取り込みが動作中です。取り込む画像や動画を待機しています。

ファイル自動取り込み動作中／更新：1 ファイル（自動再読み込み）

..... 自動取り込みが動作中且つ 1 つ以上の画像や動画を取り込みました。
取り込んだ画像や動画はまた検査リストには反映されていません。
ツールバーの「再読み込み」ボタンをクリックするか、F5 キーを押す
と検査リストを更新します。